

1 はじめに

家庭学習の充実を図るとともに、自ら課題を見付け、進んで学習する態度を身に付けさせることをねらって、全校一斉に自主学習ノートの作成に取り組んだ。複式学級においては、間接指導時に自分で課題解決を行わなければならないため、解決に必要な基本的な知識や技能を定着させるためには、効果的な取組であると考えている。

2 実践例

1日に1ページずつ毎日取り組み、保護者に見ていただくことを共通のきまりとした上で取り組んだ。

学年に応じて作成した自主学習の手引きをノートの表紙裏や自宅の机に貼らせるなどして、いつでも参考にできるようにした。教師は児童のノートに励ましのコメントを記入しながら、様々な内容に取り組めるよう助言したり、ノートの使い方について指導したりした。



児童のノート(左から低・中・高学年)

毎学期に1回ずつ全校児童の自主学習ノートを展示し、感想を交流する場を設けた。感想カードには、異学年の児童や担任以外の教師からのコメントがぎっしりと書かれ、互いに頑張りを認め合い、励まし合うことにつながった。



自主学習ノート展

3 おわりに

自分自身で課題を設定し、自主学習ノートを分かりやすくまとめることが困難な児童もいる。しかし、小規模であるからこそ、個に応じたきめ細かな指導を行うことができている。また、異学年の児童のノートからヒントを得たり、感想を交流することで意欲を高めたりすることもできている。今後も継続して取り組ませることにより、家庭学習の定着と同時に学力向上につなげたいと考えている。

【自主学習の内容例(第1学年用)】

じしゅ学しゅう チャレンジメニュー

やくぞく

- ① まいにちする。
- ② はじめに、ひにちをかく。
- ③ 1にち1ページする。(1ページのとちゅうでやめない)
- ④ 字、え、いろぬりは、ていねいにする。せんはじょうぎをつかってひく。
- ⑤ ないようは、したのメニューからえらんです。おなじものばかりつづけてしない。
- ⑥ じぶんでかんがえたメニューをしてもよい。(どんどんかんがえよう！)

こ く ご	<ul style="list-style-type: none"> ○ もじのけいこ ○ きょうかしよや、えほんのぶんをうつす ○ にっき ○ どくしょ (ほんのかんそうをかく) ○ おすすめのほんやテレビばんぐみのしょうかい ○ ことばあつめ <ul style="list-style-type: none"> ・「あ」からはじまることばあつめ ・きせつ(はる、なつ、あき、ふゆ)のことばをあつめよう ・れんそうあそび「しろいはゆき、ゆきはとける・・・」 ・しりとり ○ はいく ○ ならったかんじをつかって、ぶんをつくる ○ かんじれんしゅう ○ かたかなれんしゅう ○ かたかなのことばあつめ ○ じこしょうかい、かぞくやペットのしょうかい ○ じぶんでつくったおはなしをかく
さ ん す う	<ul style="list-style-type: none"> ○ ドリルのもんだいとく ○ きょうかしよのもんだいとく ○ ぶんしょうのもんだいをつくってとく ○ マスけいさん ○ たしざん・ひきざんカードのしきをかいてとく
せ い か つ	<ul style="list-style-type: none"> ○ おてつだいたたことを、えとぶんでかく ○ おもちゃをつくって、つく리카たやあそびかたのせつめいをかく ○ いきものやしよくぶつのことをしらべて、えやぶんでかく ○ なおせの すばらしいところ・すごいひとをしょうかいする
そ の ほ か	<ul style="list-style-type: none"> ○ すきなうたの「かし」をかく ○ じぶんでかんがえた キャラクターの えや せつめいをかく ○ じぶんでかんがえた たいそうの えや せつめいをかく ○ じぶんでかんがえた あそびの えや せつめいをかく

☺ すべてのメニューにチャレンジしよう！

☺ ノートは、むだなくつかおう！